舟山遺跡緊急発掘調査報告

——第Ⅰ次および第Ⅱ次調査——

1971

長野県駒ケ根市教育委員会

舟山遺跡緊急発掘調査報告

――第Ⅰ次および第Ⅱ次調査――

1971

長野県駒ケ根市教育委員会

序

舟山遺跡を重要な遺跡として，駒ケ根市の旧跡に指定したのは昨年のことでありすが，その直前から急に市街化がすすみ，モータープールや個人住宅の用地として造成が行なわれ，いつ遺跡が破壊されるか不安な状態となってきました。

幸いにも昭和45年度に，文化庁並に県のご配慮をいただき，国県補助事業として8月7日から発掘に着手しました。調査団長として林茂樹先生が忙しい公務の間を縫って熱心に御指導下さった賜として期待通り今までとしては駒ケ根市内では最も古い時代の遺構を認めたという成果を収めて第一期発掘を終りました。

国道沿いの舟山地域は開発がすすみ，隣地にも建物が立つという矢先で今回の調査はそういう意味でも尊い仕事だったと思います。文化庁，長野県教育委員会，団長林茂樹先生はじめ御協力下さった各調査員および調査補助員，地元の市民の方々，赤穂高校郷土クラブの諸君，博物館の館長，職員らに深甚の謝意を捧げ，この報告書が斯界に貢献するところ大ならむことを期待します。

昭和46年3月3日

駒ケ根市教育長　北沢照司謹記

例　　言

1．この調査は国県補助事業による緊急の記録保存事業であるため早急に報告書刊行の義務を生じたこと。遺跡の性格が県内としては未知の遺構が発見されその学術的内容が重大であること等に依り，図版を主とし，文章記述は簡略にした。

2．遺跡の内容は，各時期に亘って存在したが，縄文時代早期の遺構に重要性を認めたので，この点の究明を焦点化した。依って編集もこれに重点を置いた。

3．この報告書の執筆者は次の通りである。なお担当した項目の末尾に執筆者名を明記し，その責任を明らかにした。

◦本文執筆者　　林　茂樹，本田秀明，柴登己夫，小池金義，福沢正陽，小池政美，吉村　進

◦図版作製者

・遺構及地形実測図　　吉村　進，高林重水，児玉卓文

・土器拓影及実測図　　小池政美，本田秀明

・石器実測図　　田中清文

◦写真撮影

・発掘及出土状況　　木下平八郎

・遺構及石器・土器　　林　茂樹

目　　次

序 ……（駒ケ根市教育長）…… 1

例　言 …… 2

目　次 …… 3

図版目次 …… 4

図　版　Ⅰ～XVIII …… 4

本　文（挿図 1～31）…… 5

一　遺跡地の環境 ……〔調　査　団〕……23

Ⅰ　位　置 ……（林　茂　樹）……23

Ⅱ　地　形 ……（　〃　）……23

Ⅲ　歴史的環境 ……（　〃　）……24

二　発掘調査事業の経過 ……〔事　務　局〕……25

Ⅰ　記録保存事業の経緯 ……（小　池　金　義）……25

Ⅱ　調査の組織 ……（　〃　）……25

Ⅲ　発掘作業日報 ……（　〃　）……26

Ⅳ　調査概要 ……（林　茂　樹）……28

三　遺　　構 ……〔調　査　団〕……30

Ⅰ　第Ⅳ層内の遺構 ……（吉　村　進）……30

Ⅱ　第Ⅲ層内の遺構 ……（柴　登　己　夫）……41

Ⅲ　第Ⅱ層内の遺構 ……（本　田　秀　明）……44

四　遺　　物 ……〔調　査　団〕……45

Ⅰ　土　器 ……（小池政・本田・林）……45

Ⅱ　土製品 ……（林　茂　樹）……56

Ⅲ　石　器 ……（　〃　）……56

Ⅳ　金属器 ……（　〃　）……59

五　所　　見 ……（　〃　）……66

六　おわりに ……〔調　査　団〕……68

○ 発掘調査費執行状況 ……69

図 版 目 次

		(頁)
図版Ⅰ	舟山遺跡全景	5
Ⅱ	ローム層内の遺構	6
Ⅲ	遺物出土状況	7
Ⅳ	第Ⅳ層内遺構（3号址・5号址）	8
Ⅴ	〃 （22号址・断面）	9
Ⅵ	〃 （16号址・炉穴）	10
Ⅶ	〃 （10号址・土器）	11
Ⅷ	〃 （15号址・断面）	12
Ⅸ	第Ⅳ層及第Ⅱ層内遺構（17号址・23号址）	13
Ⅹ	第11号土拡（青銅器片）	14
Ⅺ	第Ⅱ層内遺構（1号址）	15
Ⅻ	第Ⅲ層内出土土器（1類・2類）	16
XIII	第Ⅱ層内出土土器（4類A・B）	17
XIV	第Ⅱ層内出土土器（4類C）	18
XV	〃 （4類E・5類）	19
XVI	第Ⅰ層内出土土器（8類・9類）	20
XVII	石　器（石鏃・掻器）	21
XVIII	石　器（打製石器）	22

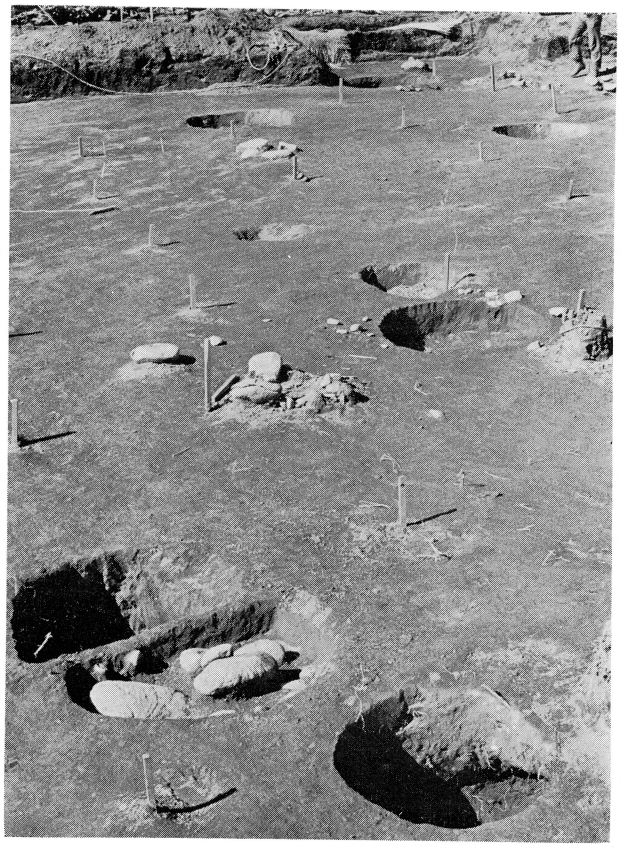
挿 図 目 次

		〔頁〕
第1図	舟山遺跡の位置図	23
第2図	舟山遺跡地形実測図	24
第3図	舟山遺跡発掘区全測図	30
第4図	舟山の地層断面図	31
第5図	第Ⅳ層内竪穴（3,4,5）	32
第6図	〃 （6,7,24）	33
第7図	〃 （8,9,10）	34
第8図	〃 （13,14,18）	36
第9図	〃 （15 A, B）	37
第10図	〃 （15号断面）	38
第11図	〃 （16,20）	39
第12図	〃 （21,22）	40
第13図	第Ⅱ層内遺構（11号址）	41
第15図	第Ⅱ，Ⅲ層内遺構（1号址）	42
	〃 （2,17）	43
第16図	第Ⅱ層内竪穴実測図（23号址）	45
第17図	土器拓影（1類・2類）	46
第18図	〃 （3類・4類A・E）	49
第19図	〃 （4類B）	50
第20図	〃 （4類B）	51
第21図	〃 （4類C）	52
第22図	〃 （4類D）	53
第23図	〃 （5類・6類）	54
第24図	〃 （7類～10類）	55
第25図	土器実測図（10類・4類）	57
第26図	石器実測図（石鏃・石錐）	60
第27図	〃 （掻器）	61
第28図	〃 （石匙・掻器・石斧）	62
第29図	〃 （剝片・刃器・尖頭器）	63
第30図	〃 （礫核石器）	64
第31図	〃 （磨石・凹石・環石）	65

1.　遺跡より西方西駒ケ岳千畳敷カールを望む

2.　北方より舟山丘陵を望む（木立の向うの稜線が遺跡地）

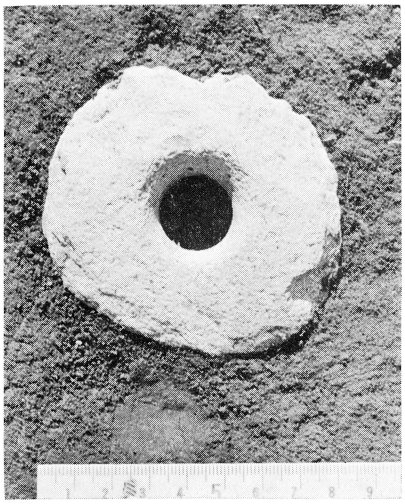
図版Ⅰ　　舟山遺跡全景



1.　第Ⅱ区小形円形竪穴群出土状況（東方より）

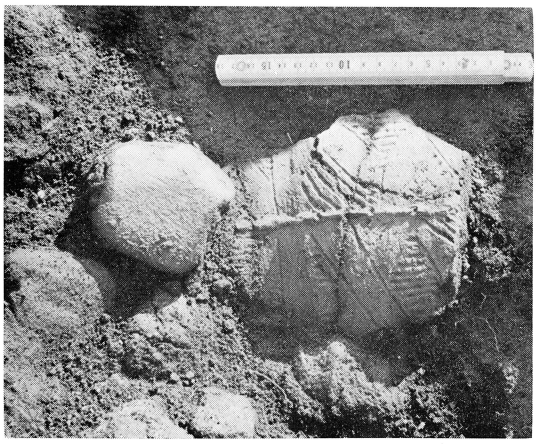
2.　第Ⅱ区小形円形竪穴址群出土状況（西方より）

図版Ⅱ　ローム層内の遺構



1.　第Ⅰ層　環石

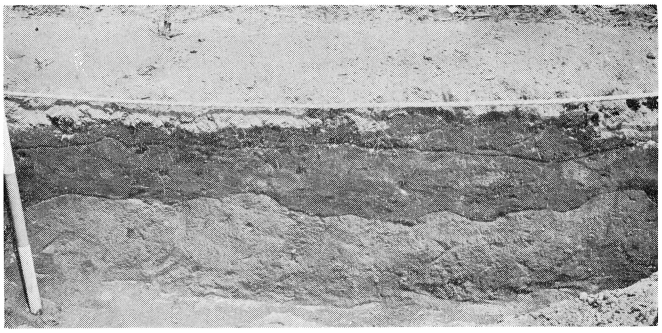
耳栓，石鏃



2.　第Ⅲ層　早期土器，磨石

早期土器，磨石

3.　第Ⅲ層　早期土器



4.　地層断面（第Ⅱ区）

図版Ⅲ　遺物出土状況